大阪府浴場国民健康保険組合
第３期保健事業実施計画
（データヘルス計画）

令和６年３月

目次

1. 基本的事項
2. 既存事業の評価
3. 保険者の現状
3.1. データに基づいた現状分析
3.1.1. 保険者の周辺環境
3.1.2. 医療費分析
3.1.3. がん検診等実施状況
3.1.4. 特定健診実施状況
3.1.5. 特定保健指導実施状況
4. 健康課題
5. 保健事業の実施内容
6. 保健事業計画の目的・目標
7. 特定健康診査等の実施に関する事項（※）
8. 個別の保健事業及びデータヘルス計画の評価・見直し
9. 計画の公表・周知（※）
10. 個人情報の取り扱い（※）
11. 事業運営上の留意事項（※）
12. その他計画策定にあたっての留意事項（※）
用語集
資料：データ集

※特定健康診査等実施計画に関する項目・内容を含む

1. 基本的事項

１）計画の趣旨

近年、特定健康診査・特定保健指導（以下「保健指導」という。）の実施や診療報酬明細書等（以下「レセプト等」という。）の電子化の普及及び国保データベース（KDB）システム等を活用することにより、保険者が健康や医療に関する情報を活用して被保険者の健康課題の分析、保健事業の評価を行うことが可能になった。

こうした中、平成 25 年 6 月 14 日に閣僚決定した「日本再興戦略」において、保険者がレセプト情報等データ分析に基づいた保健事業の推進が、被保険者の健康保持・増進のための事業計画として、保健事業実施計画（以下「データヘルス計画」という。）の策定・公表、事業実施、評価等の取り組みを求めることが盛り込まれた。

今回はデータヘルス計画も 3 期目を迎え、より一層 PDCA サイクルに沿った効果的かつ効率的に事業実施していくことを計画の趣旨とした。

２）計画期間

令和 6 年度から令和 11 年度

３）実施体制・関係者連携等の基本的事項

本計画の策定・実施等については、大阪府浴場国民健康保険組合を主体として行う。

また、必要に応じて以下の各関係機関と連携・支援を受けつつ、効果的な計画を図る。

・協力機関：大阪府国民健康保険組合協議会（共同事業実施）
　　大阪府国民健康保険団体連合会

・健診等機関：【特定健診】大阪府医師会、兵庫県医師会、京都府医師会、奈良県医師会
　　【歯科検診】大阪府歯科医師会
　　【集団健診】一般社団法人オリエンタル労働衛生協会、医療法人厚生会、
　　一般社団法人日本健康増進財団
　　【個別健診】人間ドック

2. 前期計画の評価

2.1. 特定健診

<table>
<tr><td>ストラクチャ</td><td colspan="6">担当者数：事務職 1 人
対象者数：令和 4 年度 406 人（40～64 歳 276 人、64～74 歳 130 人）
巡回型集団健診の実施：有　⇒　実施方法：共同健診</td></tr>
<tr><td>プロセス</td><td colspan="6">・周知活動
実施方法：機関誌への掲載・ホームページ掲載・健診案内の送付・リーフレットの送付
受診勧奨の強化対象：40 歳以上全被保険者

・費用負担：無

・結果返却方法：健診実施機関から直接返却

・結果説明会の開催：無

・未受診者への受診勧奨
方法：①毎年 11 月時点で、当年度の特定健診未受診者に対し、「特定健診受診券」およびリーフレットを配布し受診勧奨を行った。
②特定健診未受診者対策及び受診者のフォローアップ事業として、勧奨事業を連合会へ委託し、在宅保健師から電話による受診勧奨及び未受診理由の把握を行った。
時期：①毎年 11 月ごろ　②9 月ごろ</td></tr>
<tr><td></td><td>平成 30 年度</td><td>令和元年度</td><td>令和 2 年度</td><td>令和 3 年度</td><td>令和 4 年度</td><td>令和 5 年度</td></tr>
<tr><td>アウトプット
未受診者勧奨実施率</td><td>100%</td><td>100%</td><td>100%</td><td>100%</td><td>100%</td><td>100%</td></tr>
<tr><td>アウトカム
受診率</td><td>42.7%</td><td>47.2%</td><td>45.9%</td><td>47.1%</td><td>51.4%</td><td>47.3%</td></tr>
<tr><td>前期計画
での課題</td><td colspan="6">受診率向上対策</td></tr>
<tr><td>今期計画
での対応</td><td colspan="6">受診率向上対策</td></tr>
</table>

2.2. 特定保健指導

<table>
<tr><td>ストラクチャ</td><td colspan="6">担当者数：事務職 1 人
保健指導対象者数：令和 4 年度 18 人（動機づけ支援 14 人、積極的支援 4 人）
保健指導実施体制：委託（範囲：利用勧奨・初回面接・継続支援・最終評価）</td></tr>
<tr><td>プロセス</td><td colspan="6">・保健指導実施方法：個別面接
継続支援・評価：電話（終了時評価）・文書
・周知活動
実施方法：機関誌への掲載・ホームページ掲載・リーフレットの送付

・利用勧奨
特定健診受診時の利用案内：有　⇒　対象：血圧・脂質・糖代謝・肝機能・腎機能の数値が高い方
・特定健診受診時のプレ指導：有
（肥満未治療者で血圧、喫煙の少なくともいずれかに該当する者への短時間での利用勧奨および簡易保健指導）
・特定健診当日の初回面接実施：無

・未利用への利用勧奨
① 方法：春・秋の健診受診後の結果報告時点で、該当者へ受診案内
時期：春・秋の健診後　　8 月及び 3 月ごろ
対象者：血圧・脂質・糖代謝・肝機能・腎機能の数値が高い方
② 特定健診受診者のフォローアップ
方法：受診者のフォローアップ事業（連合会委託）在宅保健師から電話による指導
対象者：令和 3 年度特定健診受診者のうち、高血圧（1 度以上）・HbA1C（6.5 以上）・HDL（34 未満）・中性脂肪（300 以上）のいずれかに該当する者</td></tr>
<tr><td></td><td>平成 30 年度</td><td>令和元年度</td><td>令和 2 年度</td><td>令和 3 年度</td><td>令和 4 年度</td><td>令和 5 年度</td></tr>
<tr><td>アウトプット
未利用者勧奨
実施率</td><td>100%</td><td>100%</td><td>100%</td><td>100%</td><td>100%</td><td>100%</td></tr>
<tr><td>アウトカム
実施率</td><td>11.5%</td><td>13.3%</td><td>21.9%</td><td>3.8%</td><td>11.1%</td><td></td></tr>
<tr><td>アウトカム
改善率</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>前期計画
での課題</td><td colspan="6">利用率の向上対策</td></tr>
<tr><td>今期計画
での対応</td><td colspan="6">利用率の向上対策</td></tr>
</table>

2.3. 高血圧重症化予防対策

2.3.1. 未治療者への受療勧奨

<table>
<tr><td>ストラクチャ</td><td colspan="6">担当者数：事務職１人
重症度別未治療高血圧者数（再掲）</td></tr>
<tr><td>プロセス</td><td colspan="6">・周知活動
実施方法：機関誌への掲載・ホームページ・案内文の送付
・特定健診時の取り組み
リーフレット配布：無
保健指導：無
・受療勧奨対象者数（カバー率）：令和４年度５人（100%）
選定基準：特定健診受診者のうち１度以上高血圧の方
特定健診後勧奨：
勧奨方法：電話・文書
実施人数５人（100%）
受療確認
本人確認：無
レセプト確認：無
服薬開始（レセプト）：無</td></tr>
<tr><td></td><td>平成 30 年度</td><td>令和元年度</td><td>令和２年度</td><td>令和３年度</td><td>令和４年度</td><td>令和５年度</td></tr>
<tr><td>アウトプット
受療勧奨実施人数</td><td></td><td>５人</td><td>４人</td><td>５人</td><td>５人</td><td>５人</td></tr>
<tr><td>アウトカム
未治療者に占める割合</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>Ⅰ度</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>Ⅱ度</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>Ⅲ度</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>前期計画
での課題</td><td colspan="6">重症化予防対策</td></tr>
<tr><td>今期計画
での対応</td><td colspan="6">重症化予防対策</td></tr>
</table>

2.4. 糖尿病重症化予防対策

2.4.1. 未治療者への受療勧奨

<table>
<tr><td colspan="2">ストラクチャ</td><td colspan="5">担当者数：事務職 1 人
重症度別未治療糖尿病者数（再掲）</td></tr>
<tr><td colspan="2">プロセス</td><td colspan="5">・周知活動
実施方法：機関誌への掲載・ホームページ・案内文の送付
対象者数（カバー率）：令和 4 年度 11 人（100%）
・特定健診時の取り組み
リーフレット配布：無
・受療勧奨対象者数（カバー率）：令和 4 年度 11 人（100%）
選定基準：特定健診受診者のうち HbA1C6.5%以上の方
勧奨方法：電話・文書
実施人数 11 人（100%）
受療確認
本人確認：無
レセプト確認：無
服薬開始（レセプト）：無</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td>平成 30 年度</td><td>令和元年度</td><td>令和 2 年度</td><td>令和 3 年度</td><td>令和 4 年度</td><td>令和 5 年度</td></tr>
<tr><td colspan="2">アウトプット
受療勧奨実施人数</td><td></td><td>4 人</td><td>4 人</td><td>13 人</td><td>11 人</td><td>2 人</td></tr>
<tr><td colspan="2">アウトカム
未治療者に占める割合</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td>HbA1c 6.5-6.9%</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td>HbA1c 7.0-7.9%</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td>HbA1c 8.0%以上</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">前期計画での課題</td><td colspan="5">重症化予防対策</td></tr>
<tr><td colspan="2">今期計画での対応</td><td colspan="5">重症化予防対策</td></tr>
</table>

2.7.3. がん検診

対象者	被保険者 35 歳から 74 歳の方（子宮頸がんは 20 歳以上）					
実施方法	① 共同健診・予防検診（春と秋） ②人間ドック ③郵送検診					
アウトプット	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
受診勧奨実施率	100%	100%	100%	100%	100%	100%
アウトカム がん検診受診率						
胃がん	25.4%	26.2%	23.1%	22.7%	26.7%	24.3%
肺がん	40.6%	40.7%	40.1%	39.8%	47.8%	47.4%
大腸がん	38.4%	40.6%	38.5%	41.3%	45.6%	46.2%
乳がん	21.0%	27.0%	26.6%	25.7%	32.1%	35.7%
子宮頸がん	5.1%	10.3%	22.0%	21.1%	34.4%	27.1%
前期計画 での課題	・がんに対する意識向上 ・健康に対する自己管理					
今期計画 での対応	・がんに対する意識向上 ・健康に対する自己管理					

2.7.4. 歯科検診

対象者	18 歳以上の被保険者					
実施方法	・大阪府歯科医師会と契約し、口腔疾患の早期発見・早期治療及び歯周病予防を目的として「歯科検診」を実施					
アウトプット	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
受診勧奨実施率	100%	100%	100%	100%	100%	100%
アウトカム 歯科検診受診人数	22 人	14 人	11 人	7 人	14 人	12 人
前期計画 での課題	受診率の向上 歯周病についての啓発・広報					
今期計画 での対応	受診率向上のため、啓発・広報等を行う					

2.8. その他の保健事業

2.8.1. 後発医薬品の利用普及

対象者						
実施方法	医療機関受診者で、ジェネリック医薬品を利用した場合の差額通知を国保連合会の共同事業を活用し作成。 ジェネリック医薬品についての、健康掲示板ポスターやリーフレット等を作成。					
アウトプット	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
差額通知実施率	100%	100%	100%	100%	100%	100%
アウトカム 後発医薬品 利用率	64.5%	67.2%	71.0%	72.2%	77.2%	
前期計画 での課題	ジェネリック医薬品に対する効果などの知識や理解などの意識づけ					
今期計画 での対応	機関誌・ホームページ・リーフレット等での啓発や広報を引き続き実施					

3. 保険者の現状

3.1. データに基づいた現状分析

3.1.1. 保険者の周辺環境

3.1.1.1. 業種・業態の特徴

業種・業態の特調

大阪府浴場国民健康保険組合は昭和 32 年に設立し、大阪府下の浴場業に携わっている方とその家族が加入している国民健康保険組合である。

浴場業においては、事業主の高齢化により後継者不足が原因で廃業に至る場合が多く、被保険者の減少に関連している。

また、時代背景にある燃料費などの高騰にも影響があり、廃業・脱退による被保険者の減少に歯止めが利かない現状である。

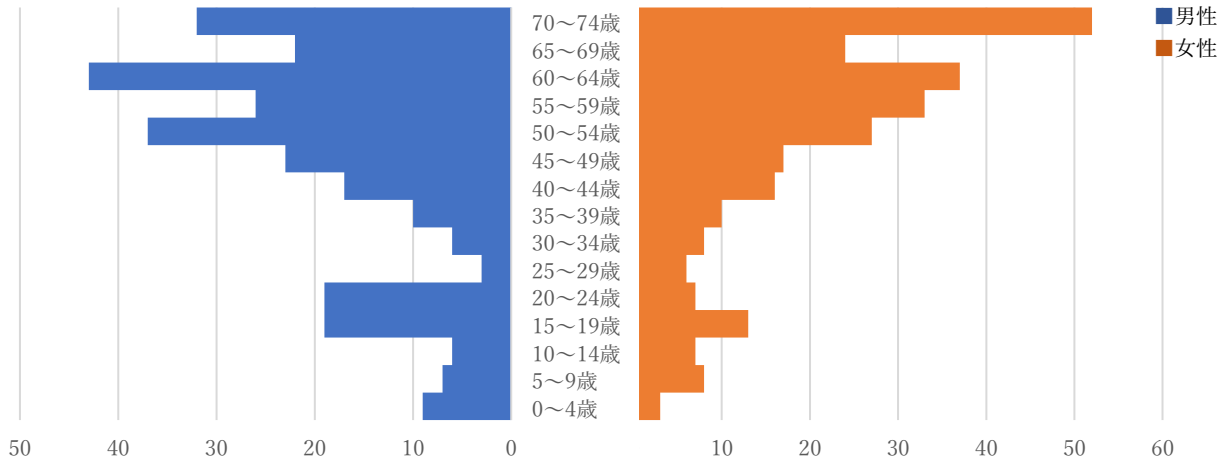
3.1.1.2. 被保険者の状況

被保険者数に男女差はなく 547 人で、年齢階級別では 40 歳～64 歳が 50.5%と最も多く、次いで 0 歳～39 歳が 25.7%、65 歳以上が 23.8%となっている。

特定健診・特定保健指導対象者の 40 歳以上の被保険者数は、406 人で被保険者に占める割合は 74.2%となっている。

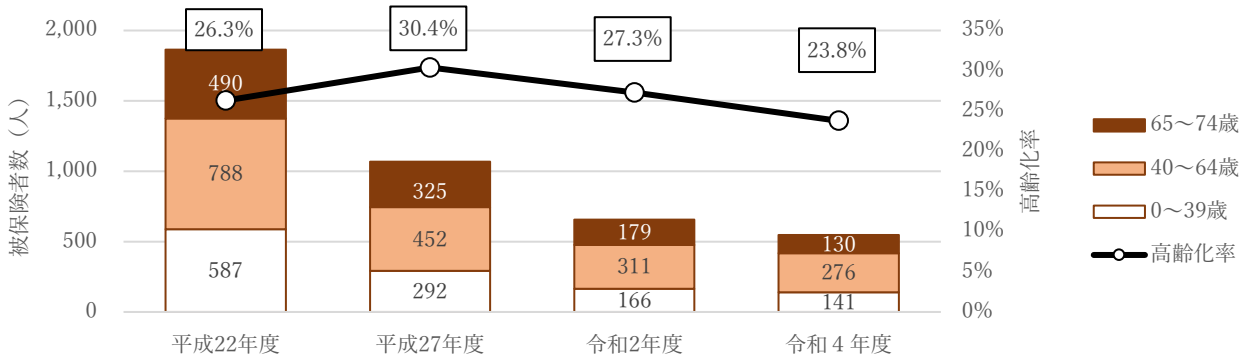
高齢者の割合は、平成 22 年度 26.3%、平成 27 年度 30.4%、令和 2 年度 27.3%、令和 4 年度 23.8%となっており、平成 27 年度のピーク時に比べ若干減少している。

図 1. 性・年齢階級別の被保険者分布（令和 5 年 3 月 31 日現在）



資料：KDB システム被保険者構成

2. 年齢階級別の被保険者分布および高齢者割合の推移



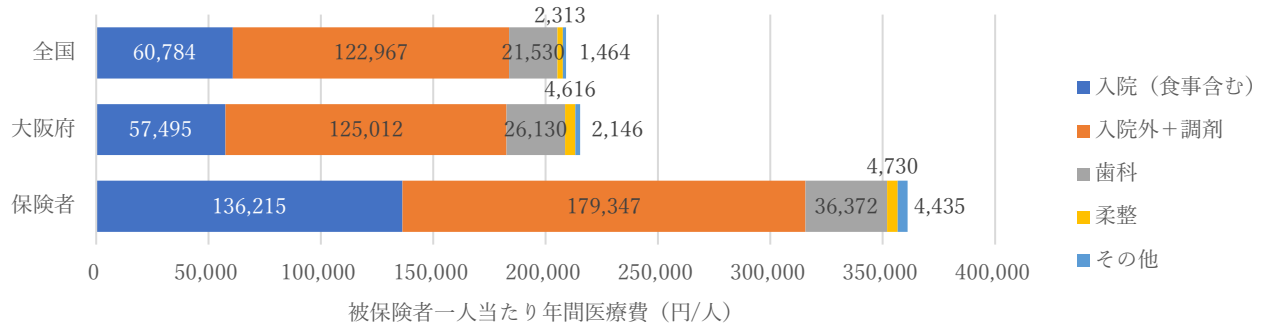
資料：大阪府国民健康保険事業状況

3.1.2. 医療費分析

3.1.2.1. 費用区分別医療費（入院、入院外＋調剤、歯科、柔整など）

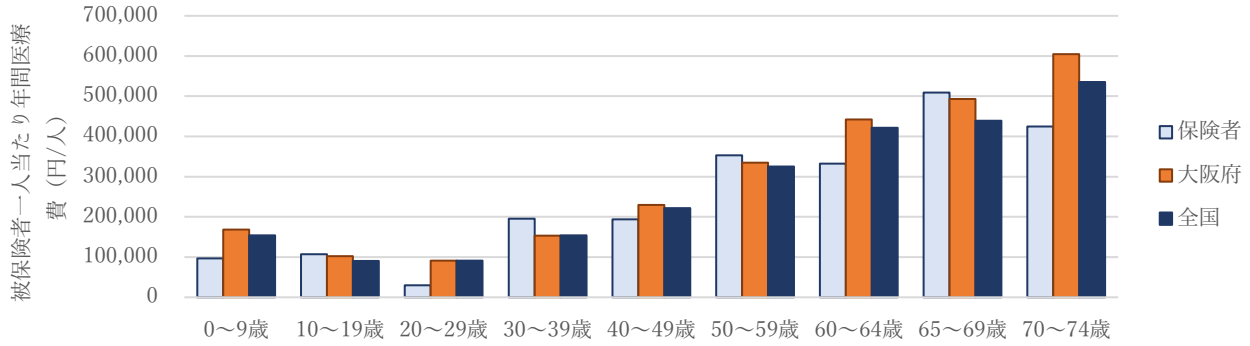
被保険者一人当たりの医療費が、大阪府・全国より大幅に上回っている。

図 3. 被保険者一人当たり年間医療費の比較（令和 3 年度）



資料：大阪府国民健康保険事業状況・国民健康保険事業年報

図 4. 年齢階級別の被保険者一人当たり総医療費(医科)の比較（令和 4 年度）



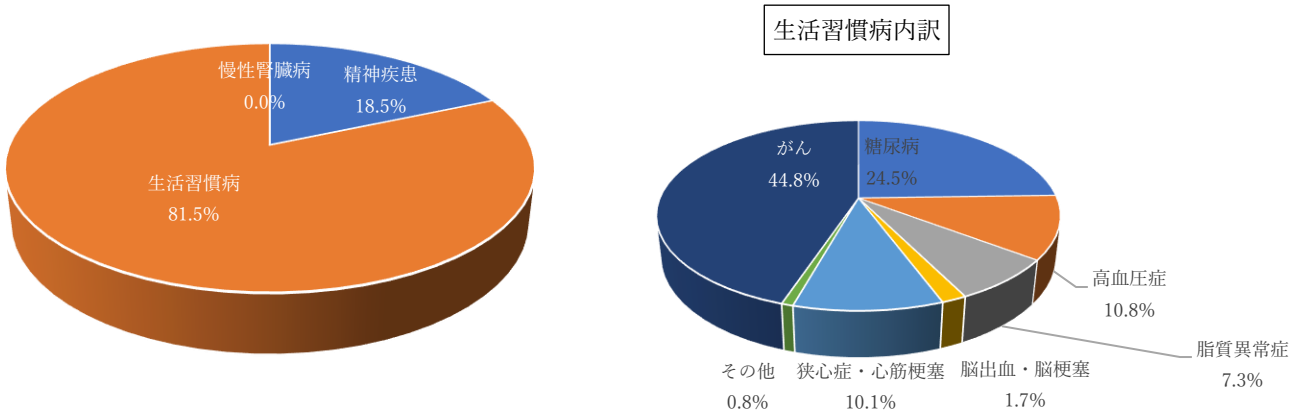
資料：KDB システム 疾病別医療費分析から算出

3.1.2.2. 医療費順位の主要疾患別医療費

総医療費に占める生活習慣病の割合が 81.5%を占めている。

内訳は、がんが 44.8%、糖尿病が 24.5%、高血圧症 10.8%、狭心症・心筋梗塞 10.1%、脂質異常症 7.3%と続いている。

図 5. 総医療費に占める生活習慣病の割合（令和 4 年度）



順位	傷病名	全医療費に占める割合	総医療費（円）	入院医療費（円）	入院外医療費（円）
1	糖尿病	9.0%	14,226,140	1,547,940	12,678,200
2	その他の心疾患	7.6%	12,048,340	8,709,500	3,338,840
3	その他の神経系の疾患	5.2%	8,303,930	2,348,710	5,955,220
4	その他の悪性新生物<腫瘍>	4.9%	7,751,450	3,713,100	4,038,350
5	その他の筋骨系及び結合組織の疾患	4.3%	6,746,050	0	6,746,050
6	気分（感情）障害（躁うつ病を含む）	3.8%	6,071,530	4,726,840	1,344,690
7	結腸の悪性新生物	3.8%	6,043,590	0	6,403,590
8	高血圧性疾患	3.8%	6,005,700	224,930	5,762,770
9	虚血性心疾患	3.8%	6,001,320	4,791,530	1,029,790
10	乳房の悪性新生物	3.7%	5,884,790	1,489,250	4,395,540

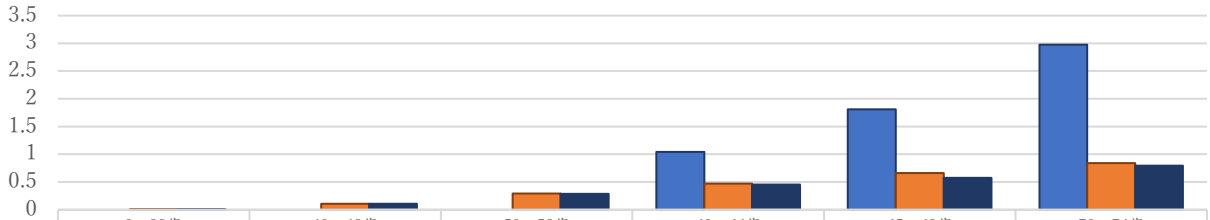
資料：KDB 疾病別医療費分析

3.1.2.3. 性別・年齢階級別の主要疾患患者数

3.1.2.3.1. 脳血管疾患・虚血性心疾患・人工透析

被保険者の高齢化も影響し、60 歳以上の虚血性心疾患は大阪府・全国よりも上回っている。人工透析は、令和 2 年度から該当者する被保険者がいない。

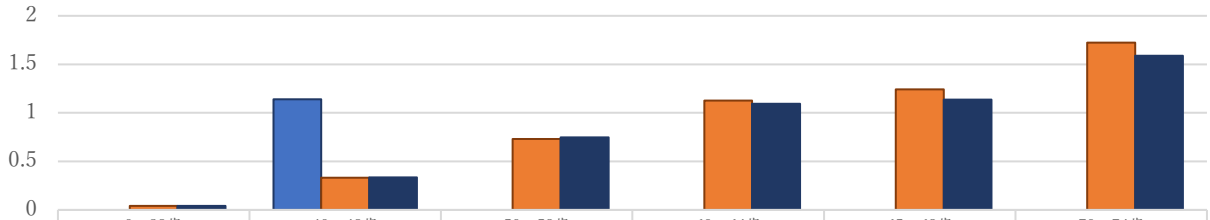
図 6. 年齢階級別被保険者千人当たりレセプト件数（虚血性心疾患・入院）（令和 4 年度）



	0～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳
保険者	0.000	0.000	0.000	1.042	1.812	2.976
大阪府	0.007	0.108	0.290	0.473	0.660	0.843
全国	0.008	0.108	0.288	0.453	0.574	0.792

資料：KDB システム 疾病別医療費分析（中分類）

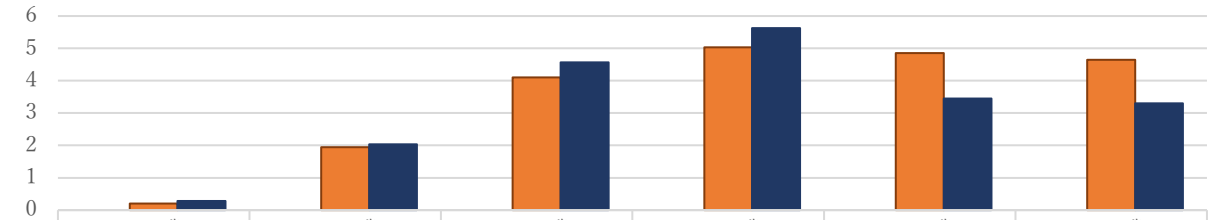
図 7. 年齢階級別被保険者千人当たりレセプト件数（脳血管疾患・入院）（令和 4 年度）



	0～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳
保険者	0.000	1.142	0.000	0.000	0.000	0.000
大阪府	0.043	0.332	0.730	1.126	1.241	1.722
全国	0.041	0.336	0.746	1.092	1.137	1.587

資料：KDB システム 疾病別医療費分析（中分類）

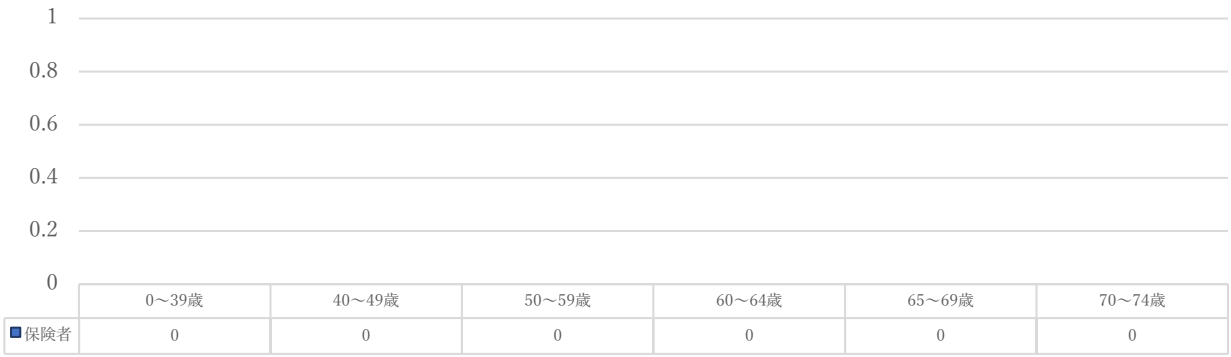
図 8. 年齢階級別被保険者千人当たりレセプト件数（人工透析・入院＋外来）（令和 4 年度）



	0～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳
保険者	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
大阪府	0.206	1.941	4.102	5.029	4.851	4.644
全国	0.280	2.034	4.567	5.631	3.445	3.298

資料：KDB システム 疾病別医療費分析（細小 82 分類）

図 9. 年齢階級別新規人工透析患者数（令和 4 年度）



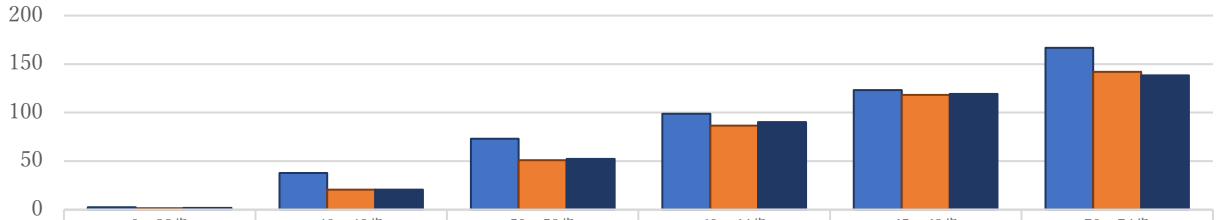
資料：国保中央会集計

3.1.2.3.2. 高血圧・糖尿病・脂質異常症

高血圧については、すべての年代で大阪府・全国より上回っている。

糖尿病及び脂質異常は、40 歳代・60 歳代で大阪府・全国より上回っている。

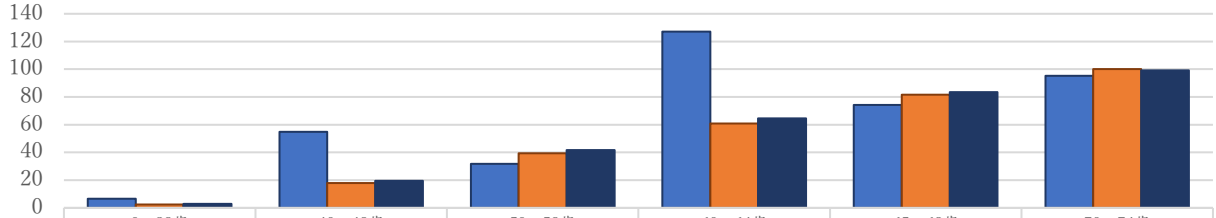
図 10. 年齢階級別被保険者千人当たりレセプト件数（高血圧性疾患・外来）（令和 4 年度）



	0～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳
保険者	2.364	37.671	73.171	98.958	123.188	166.667
大阪府	1.534	20.563	50.870	86.482	118.192	142.146
全国	1.684	20.802	52.458	90.127	119.284	138.554

資料：KDB システム 疾病別医療費分析（生活習慣病）

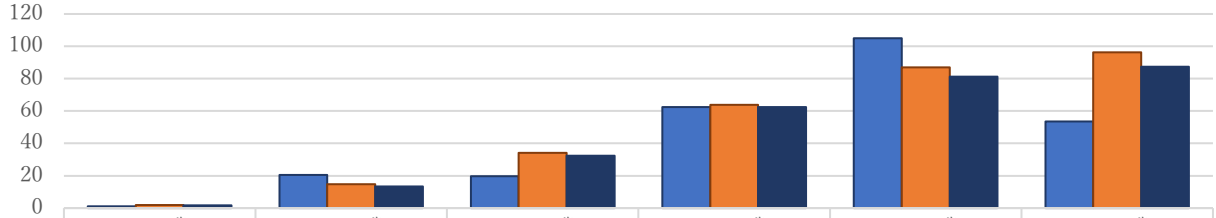
図 11. 年齢階級別被保険者千人当たりレセプト件数（糖尿病・外来）（令和 4 年度）



	0～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳
保険者	6.501	54.795	31.843	127.083	74.275	95.238
大阪府	2.452	17.992	39.452	60.797	81.536	100.145
全国	2.985	19.581	41.770	64.476	83.569	99.124

資料：KDB システム 疾病別医療費分析（生活習慣病）

図 12. 年齢階級別被保険者千人当たりレセプト件数（脂質異常症・外来）（令和 4 年度）



	0～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳
保険者	1.182	20.548	19.648	62.500	105.072	53.571
大阪府	1.833	14.688	34.183	63.885	87.051	96.368
全国	1.775	13.378	32.459	62.479	81.161	87.418

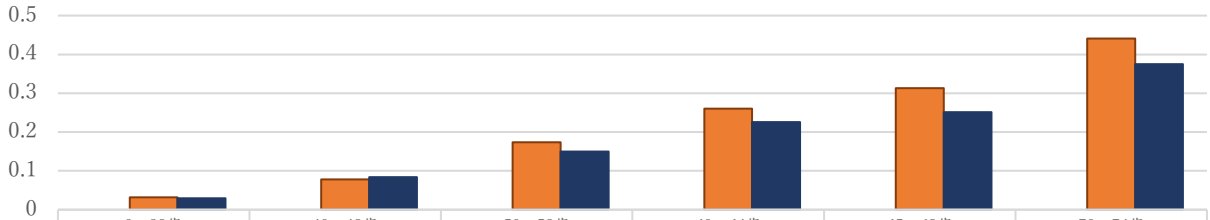
資料：KDB システム 疾病別医療費分析（生活習慣病）

3.1.2.3.3. 肺炎・骨折

（肺炎・入院）及び（骨折・入院・女性）の該当者がいない。

骨粗しょう症は、60 歳以上が大阪府・全国より上回っている。

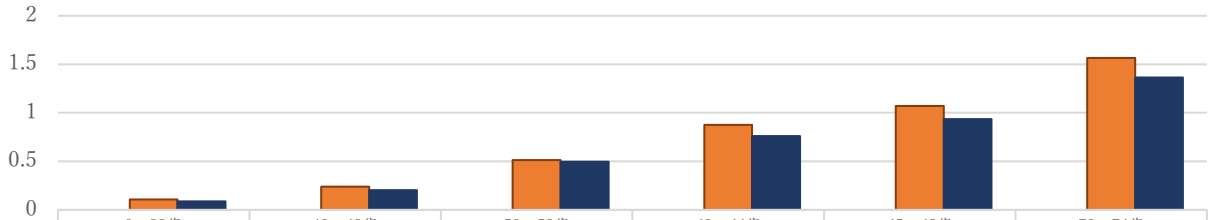
図 13. 年齢階級別被保険者千人当たりレセプト件数（肺炎・入院）（令和 4 年度）



	0～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳
保険者	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
大阪府	0.032	0.078	0.174	0.260	0.313	0.441
全国	0.029	0.084	0.150	0.226	0.251	0.375

資料：KDB システム 疾病別医療費分析（細小 82 分類）

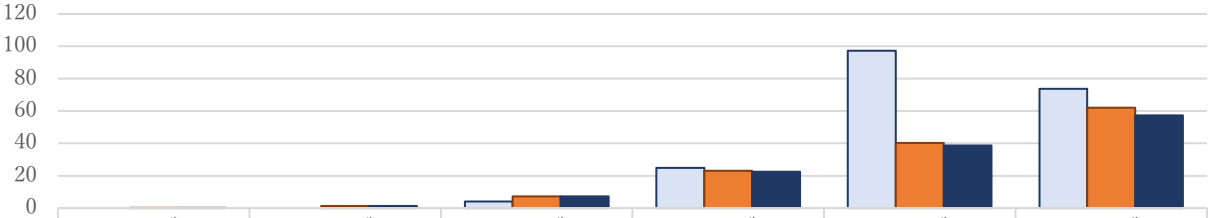
図 14. 年齢階級別被保険者千人当たりレセプト件数（骨折・入院・女性）（令和 4 年度）



	0～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳
保険者	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
大阪府	0.109	0.238	0.512	0.876	1.072	1.566
全国	0.087	0.203	0.497	0.762	0.937	1.363

資料：KDB システム 疾病別医療費分析（細小 82 分類）

図 15. 年齢階級別被保険者千人当たりレセプト件数（骨粗しょう症・外来・女性）（令和 4 年度）



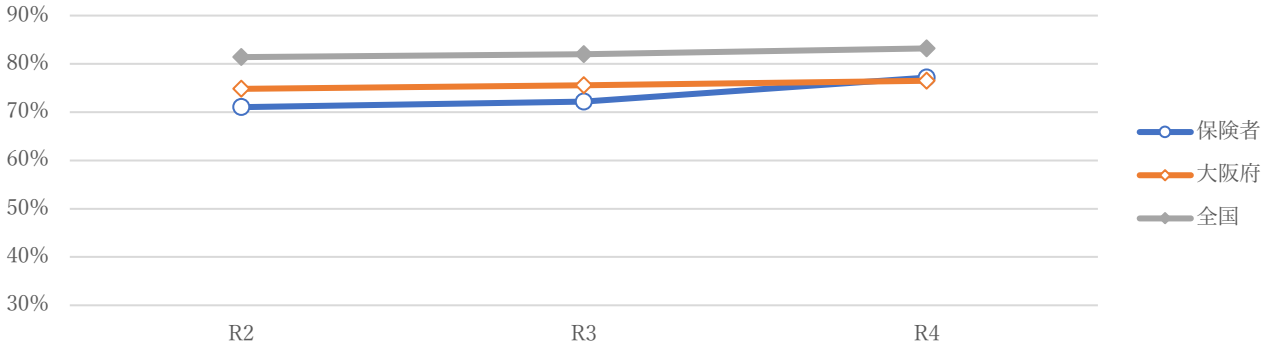
	0～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳
保険者	0.000	0.000	4.167	24.775	97.222	73.718
大阪府	0.104	1.252	7.228	23.133	40.304	62.043
全国	0.112	1.210	7.278	22.564	38.794	57.275

資料：KDB システム 疾病別医療費分析（細小 82 分類）

3.1.2.4. 後発医薬品の利用状況

年々利用状況は上昇してきているが、大阪府・全国より下回っている。

図 16. 後発医薬品使用割合の推移（数量シェア）



資料：厚生労働省ホームページ（全国）・大阪府国保連合会独自集計（大阪府・保険者）

3.1.3. がん検診等実施状況

がん検診は、35 歳から 74 歳を対象に実施。（子宮頸がん検査は 20 歳以上、乳がん検査は 40 歳以上）

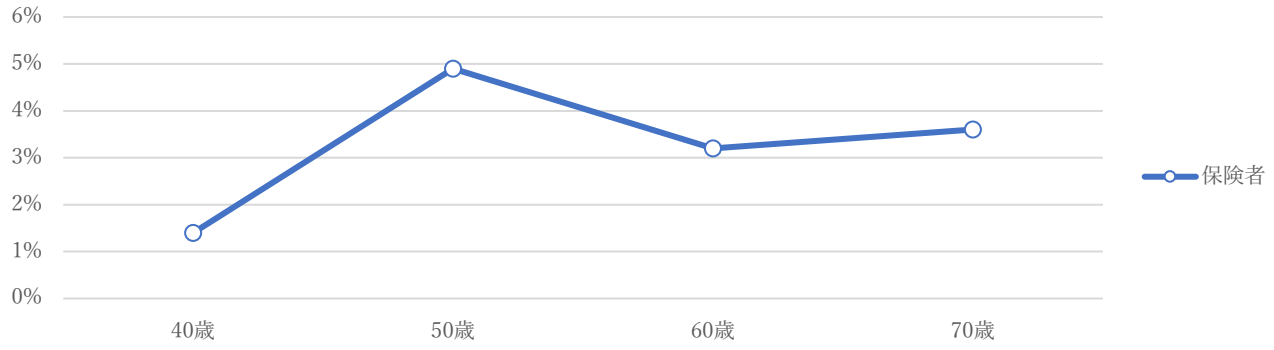
歯科検診は、18 歳以上を対象に実施。

表 2. 被保険者におけるがん検診受診率（令和 4 年度）

	胃がん	大腸がん	肺がん	乳がん	子宮頸がん
集計対象年齢	35～74 歳	35～74 歳	35～74 歳	40～74 歳	20～74 歳
受診率	26.7%	45.6%	47.8%	32.1%	30.5%

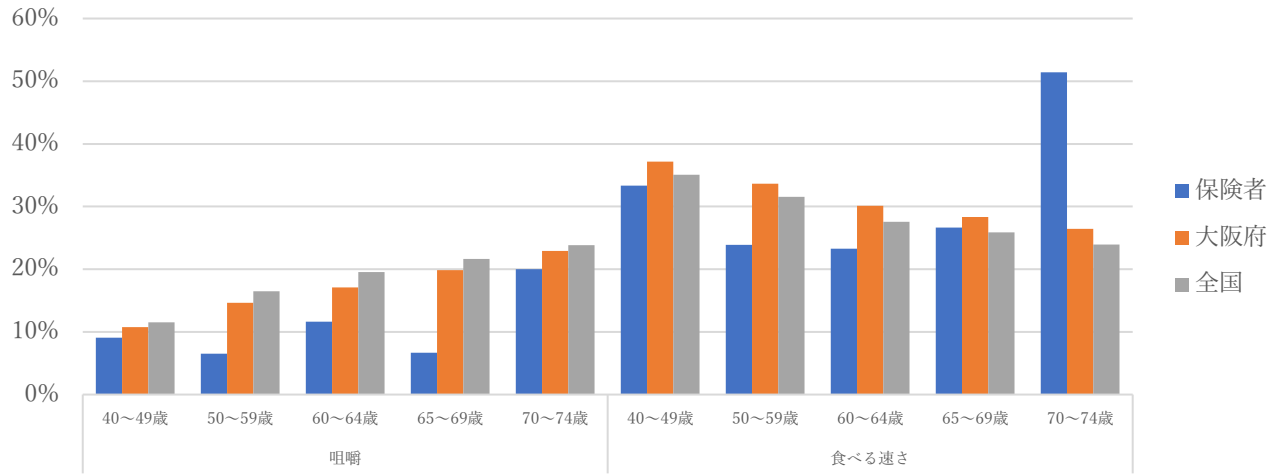
資料：保険者独自集計

図 17. 歯科検診の受診率



資料：保険者独自集計

図 18. 咀嚼機能および食べる早さの状況（令和 4 年度）



咀嚼：「食事をかんで食べる時の状態はどれにあてはまりますか」に対する「何でもかんで食べることができる」以外の割合
食べる速さ：「人と比較して食べる速度が速い」に対する「速い」の割合
資料：KDB システム 質問票調査の経年比較

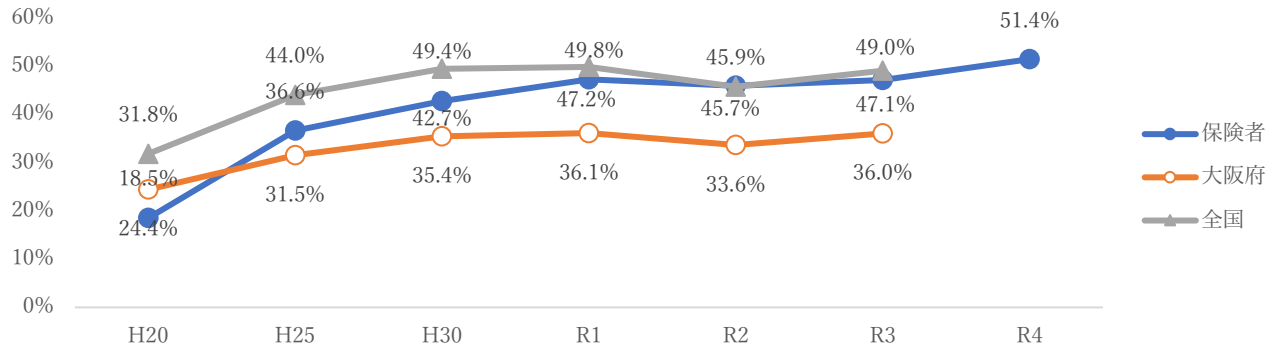
3.1.4. 特定健診実施状況

3.1.4.1. 特定健診受診の状況

特定健診の受診率は、令和４年度が 51.4%で年々上昇しているが、令和３年度までは全国より低い。性・年齢階級で見ても、男女とも大阪府と比較すると受診率は高い。

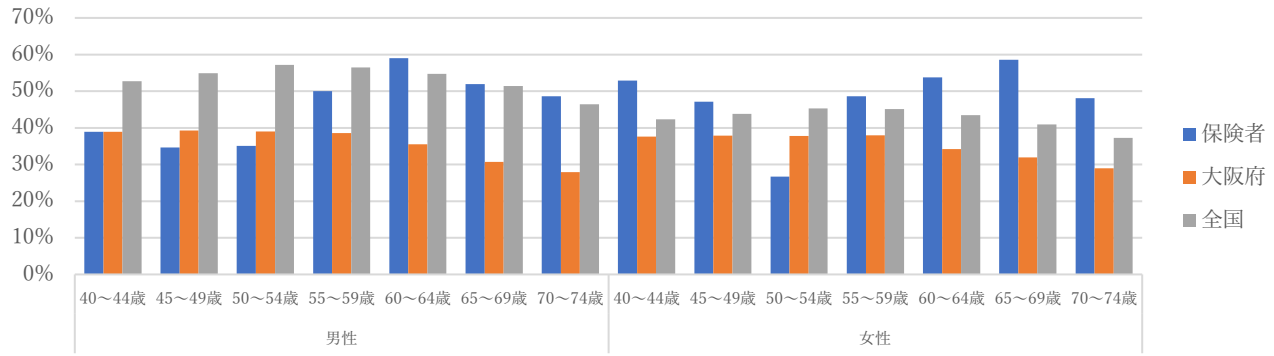
医療機関利用状況をみると「健診なし/医療なし」が 12.2%、「健診なし/医療あり（生活習慣病なし）」が 13.9%、「健診なし/医療あり（生活習慣病あり）」が 23.5%で、健診を受診していない方が 49.6%となっている。未受診者に対する健診受診勧奨の強化が必要であるとともに、健康者の方に対しても疾病の早期発見のため特定健診についての周知が重要と考える。

図 19. 特定健診受診率の推移



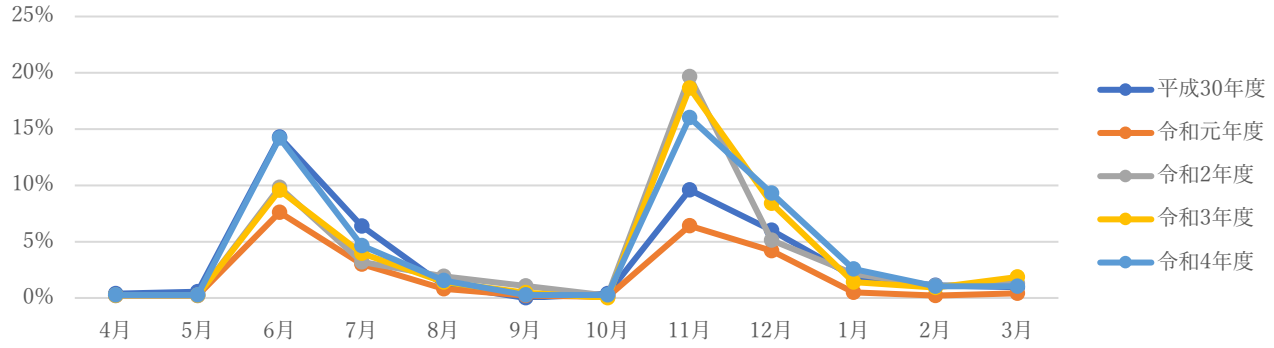
資料：特定健康診査・特定保健指導　法定報告

図 20. 性・年齢階級別特定健診受診率の全国、大阪府との比較



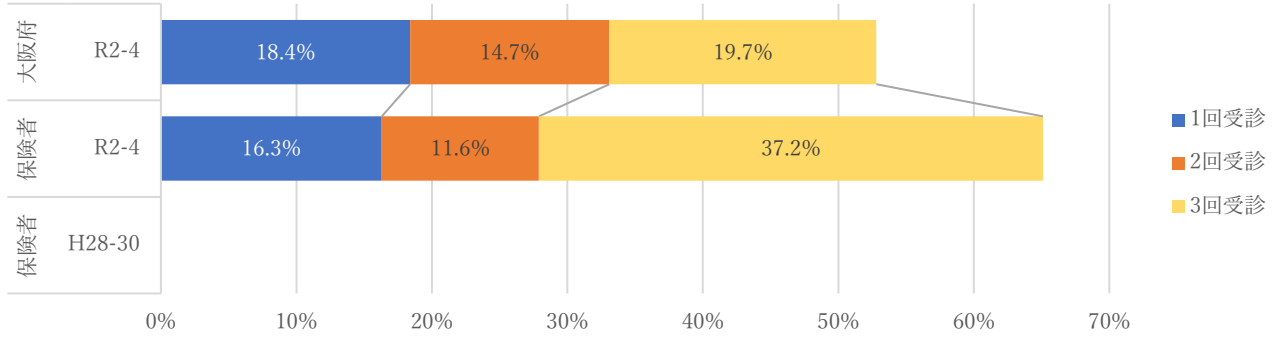
資料：特定健康診査・特定保健指導　法定報告

図 21. 月別特定健診受診率の推移



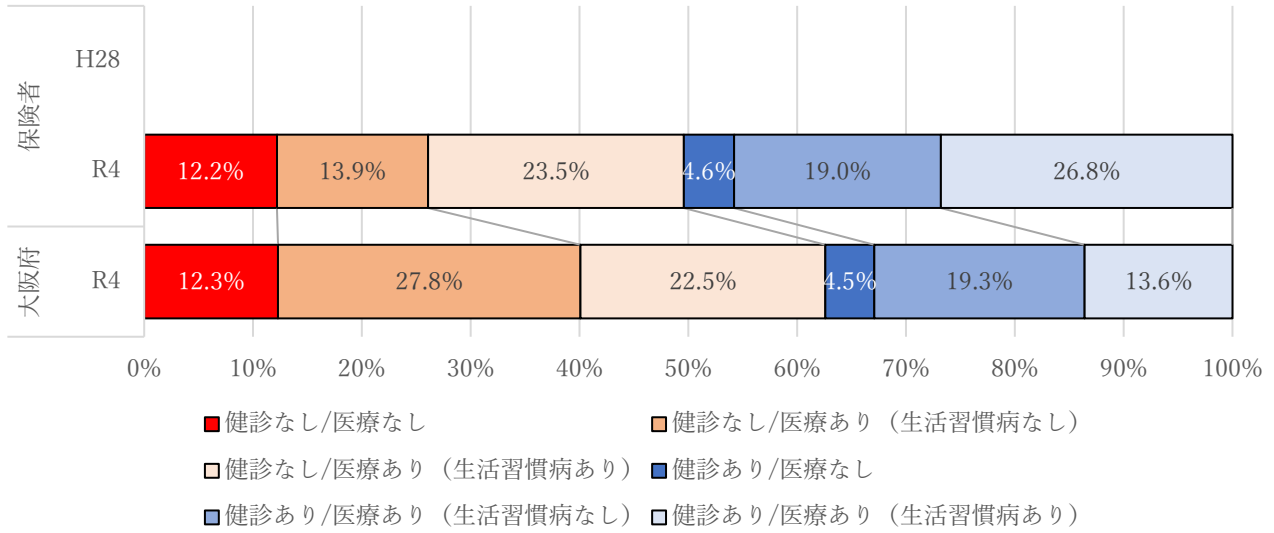
資料：特定健診等データ管理システム TKAC020 特定健診・特定保健指導進捗実績管理表

図 22. 3 年累積特定健診受診率



資料：KDB システム 被保険者管理台帳

図 23. 特定健診受診状況と医療利用状況



資料：KDB システム 医療機関受診と健診受診の関係表

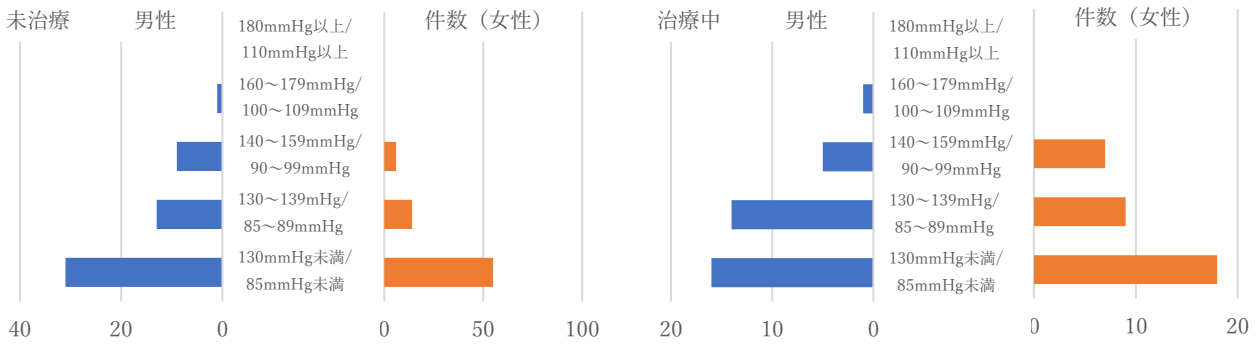
3.1.4.2. 特定健診受診者における健康・生活習慣の状況

3.1.4.2.1. 高血圧

高血圧症は糖尿病や腎疾患、またメタボリックシンドロームに該当すると合併症を引き起こす可能性があるため、上が 130mmHg 未満/85mmHg 未満の正常値に対しても、今後の受診勧奨及び受療勧奨が必要である。

上が 160mmHg 以上/100mmHg 以上の高血圧対象者に対しては、受療勧奨するとともに受療経過観察が重要となる。

図 24. 治療状況別の高血圧重症度別該当者数



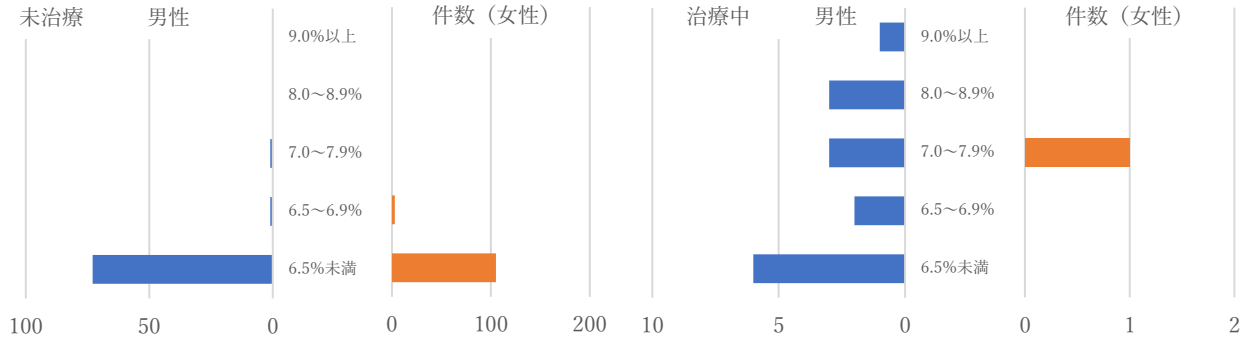
資料：KDB 保健指導対象者一覧　独自集計

3.1.4.2.2. 糖尿病

治療中の方でも、HbA1C6.5 以上の方が 10 名いる。

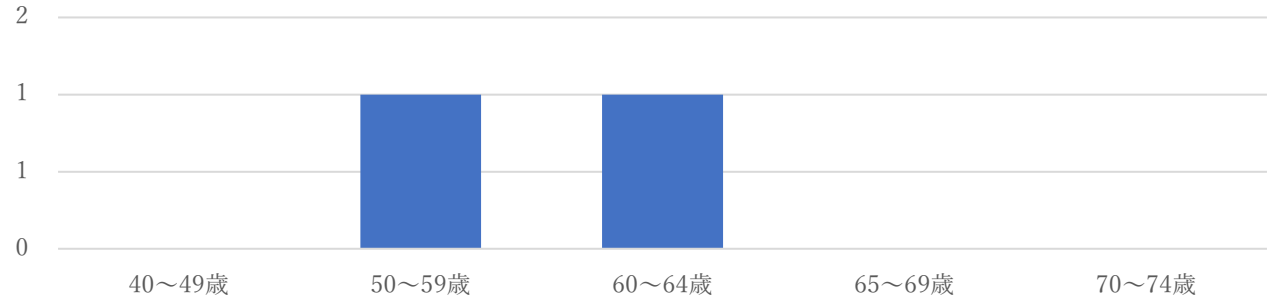
8.0 以上の方は 4 名おり、コントロール不良又は治療の中断が疑われる。

図 25. 治療状況別の糖尿病重症度別該当者数



資料：KDB システム 保健指導対象者一覧　独自集計

図 26. 糖尿病性腎症重症化予防対象者数（令和 4 年度）

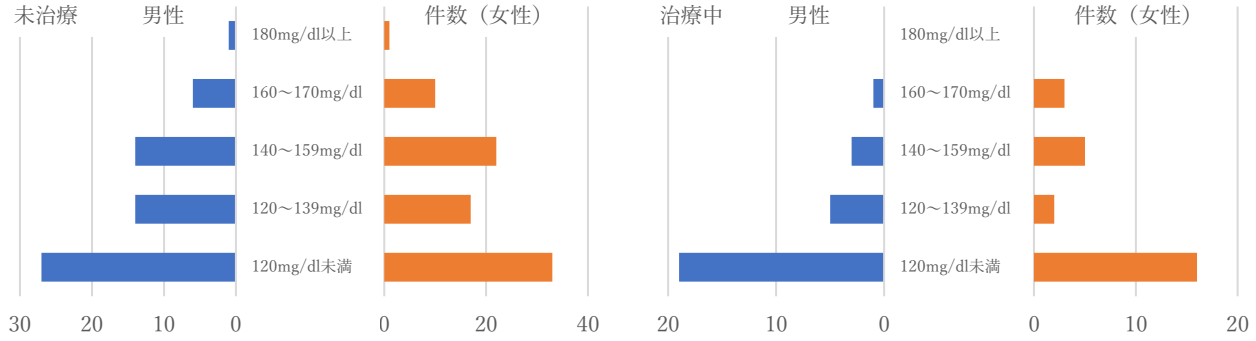


資料：KDB システム 介入支援対象者一覧（栄養・重症化予防等）

3.1.4.2.3. 脂質異常症

治療中の方に比べ、数値が高い方であっても未治療者の方が多い。血液中に含まれるコレステロールや中性脂肪が基準より多いと動脈硬化を起こしやすくなり、心筋梗塞のリスクが高くなることから、未治療の方への保険指導の受療勧奨が重要である。

図 27. 治療状況別の高 LDL コレステロール血症重症度別該当者数



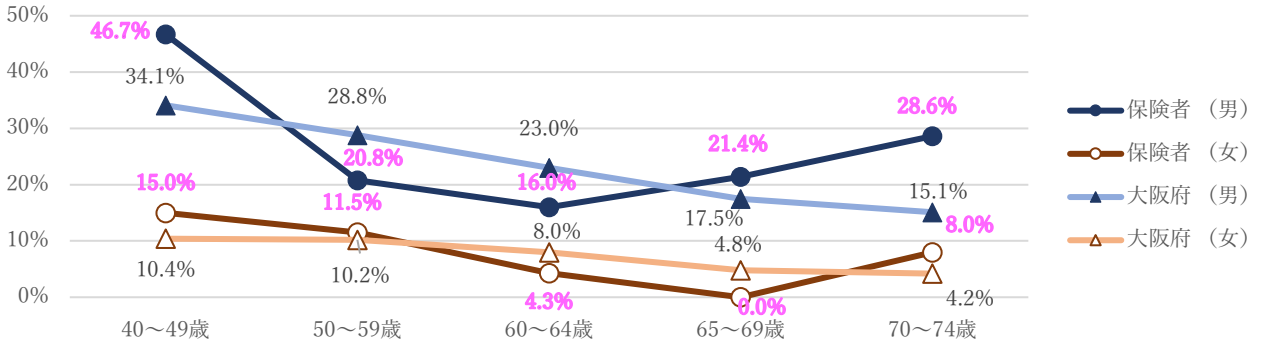
資料：KDB 保健指導対象者一覧　独自集計

3.1.4.2.4. 喫煙

年齢階級別で喫煙率を大阪府と比べると、40 歳代男性 46.7%、70 歳代男性 28.6%、70 歳代女性 8.0%と上回っている。50 歳代～60 歳代は下回っている。

喫煙による虚血性心疾患、肺がんに及ぼす影響は大きく、禁煙への啓発や禁煙できそうな方への働きかけや環境整備なども考えなければならない。

図 28. 性・年齢階級別喫煙率



資料：特定健康診査・特定保健指導　法定報告

3.1.4.2.5. 肥満・メタボリックシンドローム

BMI25.0 以上の方が、52 名もおり、メタボ出現率も増加してきている。

図 29. BMI 区分別該当者数

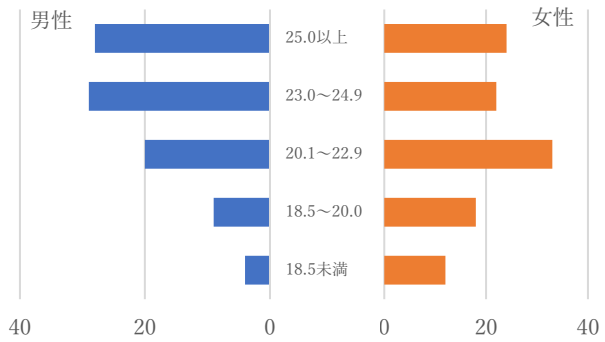
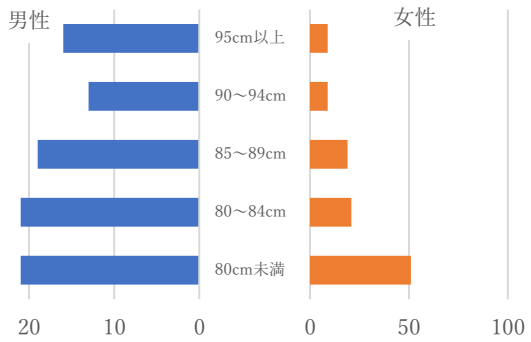


図 30. 腹囲区分別該当者数



資料：KDB 保健指導対象者一覧　独自集計

図 31. メタボ該当者・予備群の出現率の推移

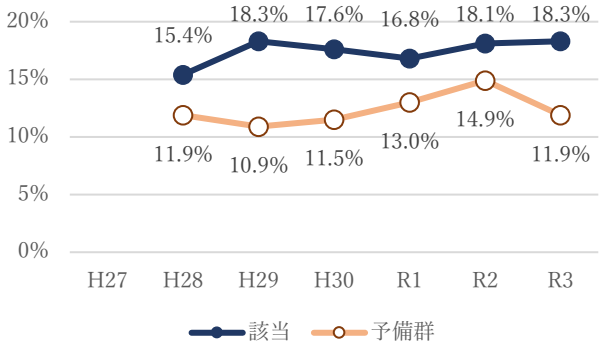
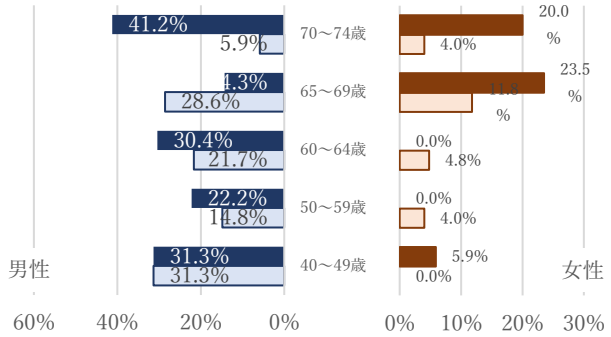


図 32. 性・年齢階級別メタボ該当者・予備群の割合



資料：特定健康診査・特定保健指導　法定報告

3.1.5. 特定保健指導実施状況

3.1.5.1. 特定保健指導利用率および実施率

特定保健指導利用率の令和３年度では、7.7%で大阪府の 6.9%より若干高い。

令和２年度の 21.9%と比べると利用率は急激に低下。

実施率は令和３年度では、3.8%で全国 13.2%・大阪府 6.2%と比べ低い。

利用率と同様に、令和２年度までは上昇していたが、令和３年度は急激に低下している。

図 33. 特定保健指導利用率の推移

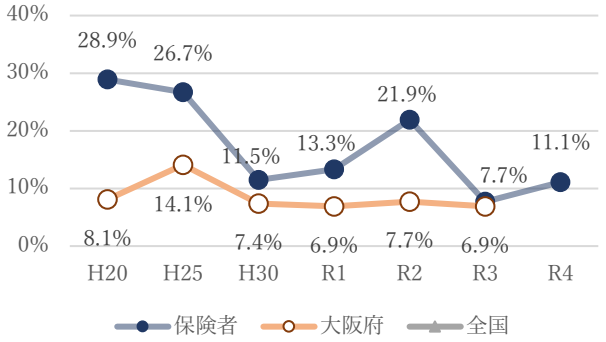
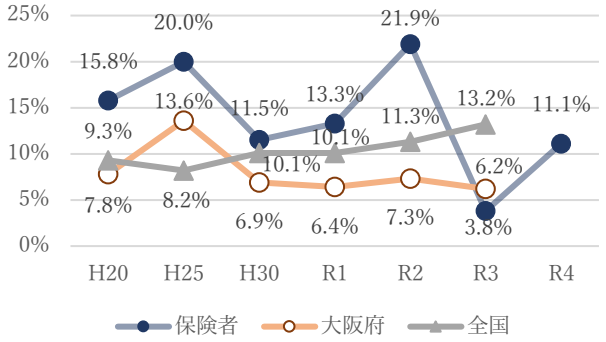


図 34. 特定保健指導実施率の推移



資料：特定健康診査・特定保健指導　法定報告

4. 健康課題

現状分析を表３にまとめている。これらより、以下の通り、健康課題が明らかになり、特に１～３については重点的に対策を行っていくことが必要である。

１．特定健診受診率の向上

２．重症化予防対策

３．がん検診の充実

5. 保健事業の実施内容

健康課題と保健事業の対応は表３にまとめている。各保健事業計画については表４にまとめている。

6. 計画の目的・目標

健康課題・保健事業と目標値の対応は表３にまとめた通りである。

表 3. 健康課題・保健事業・目標のまとめ

項目	健康課題	優先順位
特定健診	特定健診受診率の向上対策（健診受診勧奨の強化）	1
特定保健指導	重症化予防対策	2
脳卒中、心疾患	健康診断の受診対策（重症化予防対策）	6
人工透析	（重症化予防対策） 予備軍に対する受療勧奨等の強化	7
高血圧･糖尿病･脂質異常症	（重症化予防対策） 受療勧奨と経過観察の強化 定期的な保健指導と受療勧奨対策 予備軍に対する保健指導の受診勧奨	4
がん	（早期発見・早期治療） がん検診受診率向上対策	3
肺炎	重症化予防対策	8
骨折	重症化予防対策	9
後発医薬品使用促進	後発医薬品の広報対策	5

表 3. 健康課題・保健事業・目標のまとめ（つづき）

保健事業	目標値（令和 11 年度）	
	アウトプット	アウトカム
未受診者への受診勧奨など	未受診者への受診勧奨実施者の累積カバー率	特定健診受診率
未利用者への利用勧奨など	未利用者への利用勧奨実施者の累積カバー率	特定保健指導利用率・実施率
重症化予防対策 （高血圧、糖尿病、脂質異常症、糖尿病性腎症）	未治療者への受療勧奨実施 受診勧奨 80%とする。 糖尿病性腎症疑い者への保健指導実施率 80%とする。	＊メタボ該当者・予備群有病率 ＊未治療者・治療者に占める割合 Ⅱ度高血圧 HbA1c6.5%以上（未治療） HbA1c8.0%以上（治療中） ＊喫煙率・脳卒中、心疾患対象者人数 ・未治療者・治療者に占める割合 Ⅱ度高血圧 HbA1c6.5%以上（未治療） HbA1c8.0%以上（治療中）
ポピュレーションアプローチ （減塩、節酒、肥満）	メタボリックシンドローム該当者及び予備軍の減少率を 25%以上とする。	高血圧有病率
ポピュレーションアプローチ （肥満、運動）	上記と同じ	肥満有病率 メタボ該当者・予備群有病率 糖尿病有病率
ポピュレーションアプローチ （肥満、食事）	上記と同じ	脂質異常症有病率
がん検診 たばこ対策	がん検診未受診の方のうち 40%受診を目指す。	がん検診受診率 喫煙率
後発医薬品使用の啓発 医療費差額通知	後発医薬品差額通知の対象薬品の範囲を増やし、啓発を図る。	後発医薬品利用率（数量シェア）

表 4. 保健事業計画のまとめ

		特定健診 未受診者勧奨	新規対象者への案内	特定保健指導 未利用者勧奨	たばこ対策
計画の概要	目的	健診未受診者の受診を促す。	新規対象者は制度に不慣れな可能性があるため、健診受診につなげるため案内を強化する	保健指導未受診への受療勧奨を行う。	喫煙者の減少
	対象者	前年度の未受診者を対象	新たに対象年齢になる者	前年度の保健指導対象者及び受療が必要な方	喫煙者
	方法	電話・郵送・ホームページへ掲載	電話・郵送・ホームページへ掲載	電話・郵送	リーフレット等の送付
各年度の方向性	令和 6 年度	上記の通り実施	上記の通り実施	上記の通り実施	上記の通り実施
	令和 7 年度	上記の通り実施	上記の通り実施	上記の通り実施	上記の通り実施
	令和 8 年度	上記の通り実施	上記の通り実施	上記の通り実施	上記の通り実施
	令和 9 年度	上記の通り実施	上記の通り実施	上記の通り実施	上記の通り実施
	令和 10 年度	上記の通り実施	上記の通り実施	上記の通り実施	上記の通り実施
	令和 11 年度	上記の通り実施	上記の通り実施	上記の通り実施	上記の通り実施
目標値（令和11年度）	アウトプット	実施率　80%以上	実施率　80%以上	実施率　50%以上 利用率　20%	全組合員へ実施
	アウトカム	特定健診受診率（全体・年齢階級別）　5%増加	特定健診受診率（全体・年齢階級別）3%増加	保健指導実施率 25%	喫煙率の減少

表 4. 保健事業計画のまとめ（つづき）

		重症化予防対策		
		高血圧	糖尿病	糖尿病性腎症
計画の概要	目的	糖尿病や腎疾患、メタボの合併症予防による重症化予防への受療勧奨	未治療・治療中の方に対し、定期的な健診・治療の継続・予備群への早期介入による重症化対策	未治療・治療中の方に対し、定期的な健診・治療の継続・予備群への早期介入による重症化対策
	内容	・未治療者への受療勧奨 ・治療者への経過観察及び保健指導	・未治療者への受療勧奨及び受療確認 ・治療者への経過観察	・未治療者への受療勧奨 ・治療者への経過観察 ・該当者へ予防対策文書の送付
	対象者	高血圧Ⅰ度以上の方	HbA1c6.5 以上の方	HbA1c6.5 尿蛋白　±以上
各年度の方向性	令和 6 年度	対象者へ電話・郵送	対象者へ電話・郵送	対象者へ電話・郵送
	令和 7 年度	上記の通り実施	上記の通り実施	上記の通り実施
	令和 8 年度	上記の通り実施	上記の通り実施	上記の通り実施
	令和 9 年度	上記の通り実施	上記の通り実施	上記の通り実施
	令和 10 年度	上記の通り実施	上記の通り実施	上記の通り実施
	令和 11 年度	上記の通り実施	上記の通り実施	上記の通り実施
目標値（令和11年度）	アウトプット	実施率 100%	実施率 100%	実施率 100%
	アウトカム	血圧Ⅱ度以上の者の割合 2%	HbA1c6.5 以上の者の割合　2%	新規人工透析患者の抑制

表 4. 保健事業計画のまとめ（つづき）

		がん検診	歯科検診	後発医薬品普及
計画の概要	目的	早期発見・早期治療による医療費の適正化と生活習慣病の予防	口腔疾患の早期発見・早期治療・歯周病予防を図り医療費の削減	ジェネリック差額通知を送付し、医療費の適正化を図る
	内容	・生活習慣病健診（無料） ・人間ドック（一部補助） ・郵送健診（無料） ※子宮頸がん 20 歳～ ＊がん検診内訳 胃がん・肺がん・大腸がん・乳がん（マンモ）・子宮頸がん・CA125（女性）・PSA（男性）・ピロリ菌	年 2 回（春・秋）案内文の送付 ＊申込時に健康調査票等の送付。（最寄りの大阪府歯科医師会契約の歯科医院で健診を受診）	・年 4 回差額通知の送付 ・リーフレット作成 ・ポスター作成 ・機関誌、ホームページで啓発
	対象者	35 歳～74 歳 ＊子宮頸がんは 20 歳～	18 歳以上の被保険者	被保険者全員及び差額通知の該当者
各年度の方向性	令和 6 年度	健康診断の受診率　50% がん検診（郵送）…健診未受診者の申込増加（受診率）60%	・歯周病による疾病リスク等の啓発強化 ・歯科検診による医療費削減	ジェネリック医薬品の啓発強化
	令和 7 年度	上記の通り実施	上記の通り実施	上記の通り実施
	令和 8 年度	上記の通り実施	上記の通り実施	上記の通り実施
	令和 9 年度	上記の通り実施	上記の通り実施	上記の通り実施
	令和 10 年度	上記の通り実施	上記の通り実施	上記の通り実施
	令和 11 年度	上記の通り実施	上記の通り実施	上記の通り実施
目標値（令和11年度）	アウトプット	受診率 65% （特定健診受診率 65%） がん検診 60%	利用率　10%以上	実施率　100%
	アウトカム	各がん検診受診率　40%以上	歯科検診利用率　向上	数量シェア　80%

7. 特定健康診査等の実施に関する事項

１）目標

特定健康診査の対象者数および実施率の推計（令和５年度：実績値、令和６～11 年度：目標値）

	①全対象者数	②実施率	③想定実施者数（①×②）	④他の法令に基づく健診受診者数推計	⑤予定実施者数（③－④）
令和５年度	395 人	47.3%	187 人		187 人
令和６年度	360 人	50.0%	180 人		180 人
令和７年度	350 人	55.0%	193 人		193 人
令和８年度	340 人	60.0%	204 人		204 人
令和９年度	330 人	65.0%	215 人		215 人
令和 10 年度	320 人	70.0%	224 人		224 人
令和 11 年度	310 人	75.0%	233 人		233 人

特定保健指導の対象者数および実施率の推計（令和５年度：実績値、令和７年度・令和 11 年度：目標値）

		特定健康診査受診者数	動機づけ支援		積極的支援		計
			対象者数	実施者数	対象者数	実施者数	実施率
	令和５年度	187 人	14 人	0 人	5 人	0 人	0.0%
	令和７年度	193 人	20 人	5 人	10 人	3 人	26.6%
	令和 11 年度	233 人	25 人	10 人	13 人	5 人	39.4%

２）対象者の特徴・分布

60 歳代の被保険者数が最も多く、次に 50 歳代、70 歳代、40 歳代と続く。

40 歳～74 歳の割合は、全体の 75%を占めている。

３）実施体制

３）－１特定健康診査

集団健診：共同健診・日本健康増進財団

個別健診：集合契約（大阪府医師会・兵庫県医師会・京都府医師会・奈良医師会）・人間ドック

実施項目

特定健康診査法定項目である特定健診の基本的な項目[問診（既往歴、服薬歴、喫煙習慣を含む）、自他覚症状（理学的所見）、身長・体重・腹囲・BMI、血圧、血液検査（肝機能（AST、ALT、γ-GTP）、脂質（トリグリセライド、HDL コレステロール、LDL コレステロール、non-HDL コレステロール）、血糖（空腹時血糖・HbA1c）、尿検査（糖・蛋白）]、および詳細な健診の項目[心電図・眼底・貧血]を実施する。血液検査による腎機能検査として、クレアチニン測定を全受診者に実施する。

３）－１特定保健指導

健診機関に委託する。（委託範囲：利用勧奨・初回面接・継続支援・最終評価）

４）実施時期・年間スケジュール

・特定健康診査（共同健診等）については、春期、秋期に実施する。

・特定健康診査（集合契約）個別受診は、通年とする。

・人間ドック契約機関については、通年とする。

・特定保健指導については、受診月の翌月から最長６か月に渡って実施する。

５）周知・案内の方法

健診案内等の郵送・ホームページ掲載

8. 個別の保健事業及びデータヘルス計画（保健事業全体）の評価・見直し

事業の実施体制・状況・周知・外部委託等に関し評価を行う。

１年間の目標達成率や、事業全体の評価を行い、見直しをする。

9. 計画の公表・周知

データヘルス計画はホームページにて公表する。

データヘルス計画が PDCA サイクルに沿って効果的かつ効率的な実施を図ることの周知に努める。

10. 個人情報の取り扱い

被保険者のプライバシー保護の観点から、大阪府浴場国民健康保険組合規程に基づき、個人情報の取扱いは適正な管理・保護を務める。

11. 事業運営上の留意事項

計画の実施については、健診機関・国民健康保険団体連合会等の関係機関とデータの取扱いについて、守秘義務に十分注意が必要であり、連携・調整が重要となる。

12. その他計画策定にあたっての留意事項

データヘルス計画を策定し公表するに当たっては、組合が別に定める手続き、手順に応じて進める。

用語集

資料：データ集

性・年齢階級別の被保険者分布（令和５年３月 31 日現在）（図 1）

	男性	女性
0～4 歳	9	3
5～9 歳	7	8
10～14 歳	6	7
15～19 歳	19	13
20～24 歳	19	7
25～29 歳	3	6
30～34 歳	6	8
35～39 歳	10	10
40～44 歳	17	16
45～49 歳	23	17
50～54 歳	37	27
55～59 歳	26	33
60～64 歳	43	37
65～69 歳	22	24
70～74 歳	32	52

年齢階級別の国保被保険者分布および高齢者割合の推移（図 2）

	0～39 歳	40～64 歳	65～74 歳	高齢化率
平成 22 年	587	788	490	26.3%
平成 27 年	292	452	324	30.4%
令和２年	166	311	179	27.3%
令和４年	141	276	130	23.8%

被保険者一人当たり年間医療費の比較（令和３年度）（図 3）

	入院（食事含む）	入院外＋調剤	歯科	柔整	その他
保険者	136,215	179,347	36,372	4,730	4,435
大阪府	141,014	203,892	31,587	5,767	9,359
全国	142,884	200,220	26,438	2,579	5,132

年齢階級別の一人当たり総医療費の比較（令和４年度）（図 4）

	0～9 歳	10～19 歳	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～74 歳
保険者	96,970	106,844	30,093	195,158	193,815	353,403	841,111	424,520
大阪府	168,450	101,949	91,176	153,229	229,616	334,735	935,658	605,039
全国	154,273	90,386	91,425	153,833	221,733	325,240	860,416	535,357

総医療費に占める生活習慣病の割合（令和４年度）（図 5）

大分類	
生活習慣病	81.5%
精神疾患	18.5%
その他	0%

生活習慣病内訳	
がん	44.8%
慢性腎不全	0%
糖尿病	24.5%
高血圧	10.8%
脂質異常症	7.3%
脳梗塞・脳出血	1.7%
狭心症・心筋梗塞	10.1%
その他	0.8%

年齢階級別被保険者千人当たりレセプト件数（虚血性心疾患）（令和４年度）（図 6）

		0～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～64 歳	65～69 歳	70～74 歳
保険者	令和４年度	0.000	0.000	0.000	1.042	1.812	2.976
大阪府	令和４年度	0.007	0.108	0.290	0.473	0.660	0.843
全国	令和４年度	0.008	0.108	0.288	0.453	0.574	0.792

年齢階級別被保険者千人当たりレセプト件数（脳血管疾患）（令和４年度）（図 7）

		0～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～64 歳	65～69 歳	70～74 歳
保険者	令和４年度	0.000	1.142	0.000	0.000	0.000	0.000
大阪府	令和４年度	0.043	0.332	0.730	1.126	1.241	1.722
全国	令和４年度	0.041	0.336	0.746	1.092	1.137	1.587

年齢階級別被保険者千人当たりレセプト件数（人工透析）（令和４年度）（図 8）

		0～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～64 歳	65～69 歳	70～74 歳
保険者	令和４年度	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
大阪府	令和４年度	0.206	1.941	4.102	5.029	4.851	4.644
全国	令和４年度	0.280	2.034	4.567	5.631	3.445	3.298

年齢階級別の新規人工透析患者の割合（令和４年度）（図 9）

	0～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～64 歳	65～69 歳	70～74 歳
保険者	0	0	0	0	0	0
大阪府	14	45	126	76	169	320

年齢階級別被保険者千人当たりレセプト件数（高血圧性疾患）（図 10）

		0～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～64 歳	65～69 歳	70～74 歳
保険者	令和４年度	2.364	37.671	73.171	98.958	123.188	166.667
大阪府	令和４年度	1.534	20.563	50.870	86.482	118.192	142.146
全国	令和４年度	1.684	20.802	52.458	90.127	119.284	138.554

年齢階級別被保険者千人当たりレセプト件数（糖尿病）（図 11）

		0～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～64 歳	65～69 歳	70～74 歳
保険者	令和４年度	6.501	54.795	31.843	127.083	74.275	95.238
大阪府	令和４年度	2.452	17.992	39.452	60.797	81.536	100.145
全国	令和４年度	2.985	19.581	41.770	64.476	83.569	99.124

年齢階級別被保険者千人当たりレセプト件数（脂質異常症）（図 12）

		0～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～64 歳	65～69 歳	70～74 歳
保険者	令和４年度	1.182	20.548	19.648	62.500	105.072	53.571
大阪府	令和４年度	1.833	14.688	34.183	63.885	87.051	96.368
全国	令和４年度	1.775	13.378	32.459	62.479	81.161	87.418

年齢階級別被保険者千人当たり入院レセプト件数（肺炎）（令和４年度）（図 13）

	0～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～64 歳	65～69 歳	70～74 歳
保険者	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
大阪府	0.032	0.078	0.174	0.260	0.313	0.441
全国	0.029	0.084	0.150	0.226	0.251	0.375

年齢階級別被保険者千人当たり入院レセプト件数（骨折・女性）（令和４年度）（図 14）

	0～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～64 歳	65～69 歳	70～74 歳
保険者	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
大阪府	0.109	0.238	0.512	0.876	1.072	1.566
全国	0.087	0.203	0.497	0.762	0.937	1.363

年齢階級別被保険者千人当たり外来レセプト件数（骨粗しょう症・女性・一月当たり）（令和４年度）（図15）

	0～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～64 歳	65～69 歳	70～74 歳
保険者	0.000	0.000	4.167	24.775	97.222	73.718
大阪府	0.104	1.252	7.228	23.133	40.304	62.043
全国	0.112	1.210	7.278	22.564	38.794	57.275

後発医薬品利用率の推移（数量シェア）（図 16）

	令和２年	令和３年	令和４年
保険者	71.0%	72.2%	77.2%
大阪府	74.8%	75.6%	76.5%
全国	81.4%	82.0%	83.2%

歯科検診の受診率（令和４年度）（図 17）

	40 歳	50 歳	60 歳	70 歳
保険者	1.4%	4.9%	3.2%	3.6%
大阪府				
全国				

咀嚼機能、嚥下機能および食べる速さの状況（令和４年度）（図 18）

		割合		
		保険者	大阪府	全国
咀嚼	40～49 歳	9.1%	10.8%	11.5%
	50～59 歳	6.5%	14.6%	16.5%
	60～64 歳	11.6%	17.1%	19.5%
	65～69 歳	6.7%	19.9%	21.6%
	70～74 歳	20.0%	22.9%	23.8%
食べる速さ	40～49 歳	33.3%	37.2%	35.1%
	50～59 歳	23.9%	33.6%	31.5%
	60～64 歳	23.3%	30.1%	27.6%
	65～69 歳	26.7%	28.3%	25.9%
	70～74 歳	51.4%	26.5%	23.9%

特定健診受診率の推移（図 19）

	平成 20 年度	平成 25 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度
保険者	18.5%	36.6%	42.7%	47.2%	45.9%	47.1%	51.4%
大阪府	24.4%	31.5%	35.4%	36.1%	33.6%	36.0%	37.7%
全国	31.8%	44.0%	49.4%	49.8%	45.7%	49.0%	

性・年齢階級別特定健診受診率の全国、大阪府との比較（令和３年度）（図 20）

		保険者	大阪府	全国
男性	40～44 歳	38.9%	38.9%	52.7%
	45～49 歳	34.6%	39.3%	54.9%
	50～54 歳	35.1%	39.0%	57.2%
	55～59 歳	50.0%	38.6%	56.5%
	60～64 歳	59.0%	35.5%	54.7%
	65～69 歳	51.9%	30.7%	51.4%
	70～74 歳	48.6%	27.9%	46.4%
女性	40～44 歳	52.9%	37.6%	42.3%
	45～49 歳	47.1%	37.9%	43.8%
	50～54 歳	26.7%	37.8%	45.3%
	55～59 歳	48.6%	38.0%	45.1%
	60～64 歳	53.8%	34.2%	43.5%
	65～69 歳	58.6%	31.9%	40.9%
	70～74 歳	48.1%	29.0%	37.3%

月別特定健診受診率の推移（図 21）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
平成 30 年度	0.4%	0.6%	14.3%	6.4%	1.1%	0.0%	0.4%	9.6%	6.0%	1.9%	1.1%	0.9%
令和元年度	0.2%	0.2%	7.6%	3.0%	0.8%	0.2%	0.1%	6.4%	4.2%	0.5%	0.2%	0.4%
令和 2 年度	0.2%	0.2%	9.8%	3.2%	1.9%	1.1%	0.2%	19.7%	5.1%	2.1%	1.1%	1.3%
令和 3 年度	0.2%	0.2%	9.6%	4.0%	1.4%	0.5%	0.0%	18.7%	8.4%	1.4%	0.9%	1.9%
令和 4 年度	0.3%	0.3%	14.2%	4.7%	1.6%	0.3%	0.3%	16.0%	9.3%	2.6%	1.0%	1.0%

3 年累積特定健診受診率（図 22）

		1 回受診	2 回受診	3 回受診
保険者	令和 2～4 年度	16.3%	11.6%	37.2%
大阪府	令和 2～4 年度	18.4%	14.7%	19.7%

特定健診受診状況と医療利用状況（図 23）

健診受診		なし			あり		
医療利用		なし	生活習慣病以外のみ	生活習慣病あり	なし	生活習慣病以外のみ	生活習慣病あり
保険者	令和 4 年度	12.3%	13.9%	23.5%	4.6%	19.0%	26.8%
大阪府	令和 4 年度	12.2%	27.8%	22.5%	4.5%	19.3%	13.6%

治療状況別の高血圧重症度別該当者数（令和 4 年度）（図 24）

高血圧 未治療者	正常	正常高値 （要保健指導）	高血圧（要受診勧奨）		
			Ⅰ度	Ⅱ度	Ⅲ度
	130mmHg 未満/ 85mmHg 未満	130～139mHg/ 85～89mmHg	140～159mmHg/ 90～99mmHg	160～179mmHg/ 100～109mmHg	180mmHg 以上/ 110mmHg 以上
男性	31	13	9	1	0
女性	55	14	6	0	0
高血圧 治療者	正常相当	正常高値相当	Ⅰ度高血圧相当	Ⅱ度高血圧相当	Ⅲ度高血圧相当
	130mmHg 未満/ 85mmHg 未満	130～139mHg/ 85～89mmHg	140～159mmHg/ 90～99mmHg	160～179mmHg/ 100～109mmHg	180mmHg 以上/ 110mmHg 以上
男性	16	14	5	1	0
女性	18	9	7	0	0

治療状況別の糖尿病重症度別該当者数（令和 4 年度）（図 25）

糖尿病 未治療者	正常	要保健指導	糖尿病疑い（要受診勧奨）		
	6.5%未満	6.5～6.9%	7.0～7.9%	8.0～8.9%	9.0%以上
男性	73	1	1	0	0
女性	105	3	0	0	0
糖尿病 治療者	コントロール良好		コントロール不良		
	6.5%未満	6.5～6.9%	7.0～7.9%	8.0～8.9%	9.0%以上
男性	6	2	3	3	1
女性	0	0	1	0	0

年齢階級別の糖尿病性腎症重症化予防対象者数（令和 4 年度）（図 26）

	40～49 歳	50～59 歳	60～64 歳	65～69 歳	70～74 歳
男女計	0	1	1	0	0

治療状況別の高 LDL コレステロール血症重症度別該当者数（令和 4 年度）（図 27）

脂質異常症	正常	要保健指導	高 LDL コレステロール血症（要受診勧奨）		
未治療者	120mg/dl 未満	120～139mg/dl	140～159mg/dl	160～170mg/dl	180mg/dl 以上
男性	27	14	14	6	1
女性	33	17	22	10	1
脂質異常症	高リスク群目標	中リスク群目標	低リスク群目標	コントロール不良	
治療者	120mg/dl 未満	120～139mg/dl	140～159mg/dl	160～170mg/dl	180mg/dl 以上
男性	19	5	3	1	0
女性	16	2	5	3	0

性・年齢階級別喫煙率（令和 4 年度）（図 28）

		40～49 歳	50～59 歳	60～64 歳	65～69 歳	70～74 歳
保険者	男性	46.7%	20.8%	16.0%	21.4%	28.6%
	女性	15.0%	11.5%	4.3%	0.0%	8.0%
大阪府	男性	34.1%	28.8%	23.0%	17.5%	15.1%
	女性	10.4%	10.2%	8.0%	4.8%	4.2%

BMI 区分別該当者数（令和 4 年度）（図 29）

	18.5 未満	18.5～20.0	20.1～22.9	23.0～24.9	25.0 以上
男性	4	29	20	9	4
女性	12	18	33	22	24

腹囲区分別該当者数（令和 4 年度）（図 30）

	80cm 未満	80～84cm	85～89cm	90～94cm	95cm 以上
男性	21	21	19	13	16
女性	51	21	19	9	9

メタボ該当者・予備群の出現率の推移（図 31）

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
該当	15.4%	18.3%	17.6%	16.8%	18.1%	18.3%
予備群	11.9%	10.9%	11.5%	13.0%	14.9%	11.9%

性・年齢階級別メタボ該当者・予備群の割合（令和 3 年度）（図 32）

		40～49 歳	50～59 歳	60～64 歳	65～69 歳	70～74 歳
男性	予備群	31.3%	14.8%	21.7%	28.6%	5.9%
	該当	31.3%	22.2%	30.4%	4.3%	41.2%
女性	予備群	0.0%	4.0%	4.8%	11.8%	4.0%
	該当	5.9%	0.0%	0.0%	23.5%	20.0%

特定保健指導利用率の推移（図 33）

	平成 20 年度	平成 25 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
保険者	28.9%	26.7%	11.5%	13.3%	21.9%	7.7%	11.1%
大阪府	9.7%	8.3%	7.4%	6.9%	7.7%	6.9%	8.5%
全国							

特定保健指導実施率の推移（図 34）

	平成 20 年度	平成 25 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
保険者	15.8%	20.0%	11.5%	13.3%	21.9%	3.8%	11.1%
大阪府	9.3%	8.2%	6.9%	6.4%	7.3%	6.2%	7.2%
全国	2.4%	9.0%	10.1%	10.1%	11.3%	13.2%	